

長野市中条地区の小中高生が西山大豆の種まきをしました

長野市立中条小学校、中学校及び長野西高校中条校に通う生徒の皆さんが、6月6日に西山大豆の種まきをしました。

この取組みは、地域でつくる「ふるさとの味を伝える会」が主体となり、地域のブランドでもある西山大豆の栽培を通じ、次代を担う子どもたちの食農教育の推進や、郷土愛を育むことを目的として平成23年から実施しています。

当日は、「ふるさとの味を伝える会」の塩入会長、長野市役所中条支所職員及び支援センター職員がお手伝いをしました。

塩入会長から種のまき方の説明を受け、「ナカセンナリ」の種を手にした小学生たちは、木の枝で株間を図りながら3粒ずつ種を置き、しっかりと土をかけていました。中学生と高校生は、班ごとにわかれて速さを競いながらも丁寧にまいていました。その後の管理は塩入会長にお願いしましたが、芽が出ているか、茎が伸びているか自分たちでも時々見に来ようと話していました。

(地域第一係 矢崎)



種のまき方を教わる小学生



西山大豆について講習を受ける中学生



種まきをする高校生